

ウメの花に来る生きものをみる

早春のまだ寒い時期は、咲いている花が少ないので、蜜を求める生きものたちがウメの花を訪れます。

蜜を求めてやってきた昆虫や鳥たちが、体に花粉をつけて運んでくれるので、ウメは実をつけることができます。

キタテハ

成虫の状態せいぢゆうで冬を越し、早春の暖かい日あたになると姿を現します。



ニホンミツバチ

寒さに強く、早春にも蜜を求めて花を訪れます。

メジロ

ブラシのような舌で花の蜜をなめて食べています。



ウメの花おさんぽスポット

点線で囲んだ場所は、園内さんぽでウメの花を楽しめるスポットです。



こもれびの池

池の周りを歩きながら、さまざまな品種のウメを楽しめます。

こもれびの里

武蔵野の昔ながらの里の風景とともにウメの花を楽しめます。

日本庭園

日本庭園をおさんぽしながら、ウメの花を楽しめます。



花木園梅園

たくさんの品種のウメの花を一度に楽しめます。

ゆめひろば

広場で遊びながらウメの花を楽しむことができます。

公園からのおねがい

- ・園内の生きものは採取したり、持ち帰らないようにしましょう。
- ・花畑や花壇、柵で囲った場所は入らずに観察しましょう。

ウメの花 おさんぽガイド

古くは万葉集のころから日本人に愛されてきたウメの花。

今日は生きものや人とのつながりを思いながらウメの花を楽しんでみませんか？



ウメの花の楽しみ方

花と枝ぶりを楽しむ



ウメの木の近くでは一步引いて眺めてみてください。美しい枝ぶりをみるのもウメの木の楽しみです。

ウメの木は成長が早く、木の形が変化しやすい性質があります。1年間で伸びた枝は緑色をしているので、去年どのくらい伸びたかわかります。



実を味わって楽しむ

ウメの実^{うめぼ}は、梅干しや梅酒、ジュースやジャムなどに加工して食用します。ウメの中でも食用に適した実をつける品種は“実ウメ”^{みうめ}と呼ばれます。

梅干しに適している「南高梅」はこもれびの池で、日本酒に適している「白加賀」は花木園梅園でみることができます。



うめぼ
梅干し



梅酒

多品種のウメを楽しむおさんぽコース

花木園梅園には19品種のウメが植えられています。さまざまなウメの花をみてみましょう。



1 ふじぼたんしだれ 藤牡丹枝垂

大輪の花と枝垂れた枝ぶりが特徴です。



2 れんきゅう 蓮久

八重咲の花と優雅な枝ぶりのウメです。



3 えんおう 鴛鴦

鴛鴦はオシドリの意味。2つずつ花が咲きます。



4 しろうかが 白加賀

一重の白い花が咲きます。実は梅酒に用いられます。

- * ... 早咲きコース 1月中旬～2月下旬
- * ... 中咲きコース 2月上旬～3月上旬
- * ... 遅咲きコース 2月中旬～3月上旬



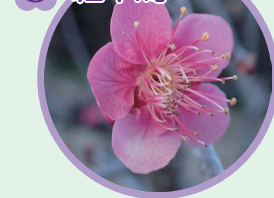
6 みちしるべ 道知辺

香りが強く、大輪の花を咲かせます。



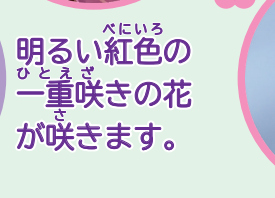
8 ちゃせんばい 茶筌梅

花びらが退化して、雌しべだけが見える品種です。



5 べにちどり 紅千鳥

明るい紅色の一重咲きの花が咲きます。



7 おおさかずき 大盃

花びらはスプーン状。花の形は盃のように見えます。



9 べにばら 思いのまま

紅色と白色の花が同じ木に咲きます。

花びらが退化して、雌しべだけが見える品種です。



花びらはスプーン状。花の形は盃のように見えます。

